

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年7月15日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年7月15日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【既設多核種除去設備 共沈タンク(C)のpH計1入口弁からの滲みについて】 当直員が既設多核種除去設備 共沈タンク(C)のpH計校正時に、pH計1入口弁からの滲みを確認。 当該pH計の隔離を実施し、滲みは停止。 また、滲み箇所は袋養生を実施済み。 pH計測は後段側にて手分析で実施しているため、pH測定には影響なし。 今後、当該弁の点検または交換を予定。	GⅢ	7月7日
2	【既設多核種除去設備 共沈タンク(B)用pH計装ラックのバイパス弁からの滲みについて】 当直員がパトロール時に、既設多核種除去設備 共沈タンク(B)用のpH計装ラックのバイパス弁からの滲みを確認。 当該バイパス系統を隔離し、滲みは停止。 また、滲み箇所は袋養生を実施済み。 pH計測は後段側にて手分析で実施しているため、pH測定には影響なし。 今後、当該弁の点検または交換を予定。	GⅢ	7月9日
3	【5号機 非常用ディーゼル発電機(B)系のストレナ(2C)出口側ベント管接続部からの漏えいについて】 当社社員が5号機 非常用ディーゼル発電機(B)系の冷却水(海水)の水張り時に、ストレナ(2C)出口側ベント管接続部から、海水の漏えいを確認。 漏えい箇所は補修剤にて応急処置済み。 非常用ディーゼル発電機(B)系は点検停止中であり、機能に影響なし。 今後、漏えい箇所の修理を実施予定。	GⅢ	7月12日
4	【原子炉注水設備バッファタンク用窒素発生装置No.2の警報発生について】 当直員が原子炉注水設備バッファタンク用窒素発生装置No.2の「原料空気圧力低下異常」、「エレメント異常」の警報が発生し、当該装置が停止したことを確認。 当該装置は予備水源であるバッファタンクの付属設備のため、原子炉注水システムへの影響はなし。 調査の結果、当該装置の空気圧縮機圧力スイッチ等に異常があると推定。 今後、点検を実施予定。	GⅢ	7月9日
5	【6号機 使用済燃料プール内のチャンネル着脱器用制御回路の絶縁不良について】 協力企業作業員が6号機 使用済燃料プール内のチャンネル着脱器(※)の使用前点検を実施していたところ、同機器の制御回路の絶縁抵抗不良を確認。 今後、制御回路内の絶縁抵抗不良箇所を特定し、修理予定。 また、原因を調査し対応を検討。 ※チャンネル着脱器: 燃料集合体に取り付ける四角い筒状の金属製のカバーを取り付け・取り外しする際に使用する装置。	GⅢ	7月12日